

アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）に関する取組について

1 経過

本協議会では、地域住民への普及啓発に関する取組みとして、「アドバンス・ケア・プランニング」や「看取り」ではなく、「在宅療養」をテーマにリーフレットや出前講座に取組んできました。

一方、これまでに、吹田市地域医療推進懇談会や、消防本部警防救急室から「高度医療を求めていると思われる高齢者で、救急搬送されてくる事例が多数ある。」「看取りの希望があるにもかかわらず、かかりつけ医との連絡が取れないときに救命措置を行わなければならない場合がある。」等現場で起こっている現状についての意見が高齢福祉室に寄せられていました。

「在宅療養」をテーマにした出前講座や、「看取り」をテーマにした講演会においても「人生の最期をどう迎えるか」ということに市民の関心の高さを感じるようになってきました。

今年度の多職種連携研修会では、「看取り」をテーマに実施しましたが、やはり「アドバンス・ケア・プランニング」の概念の説明抜きには検討ができないと作業部会員の意見が一致し、短時間ではありますが講義をプログラムに入れました。

これらの経過を踏まえ、来年度の本協議会において「アドバンス・ケア・プランニング」に関する取組を提案するものです。

この取組については、地域医療推進室と課題認識が重複することから、両室で協働していくことといたします。

2 平成 31 年度に取組む内容

(1) アドバンス・ケア・プランニングに関する実態把握、課題の整理、対策の検討

→ 地域医療推進懇談会の作業部会

診療所・病院・訪問看護・救急・介護職による議論

(2) 市民に対する啓発

一般市民対象の講演会、出前講座

医療や介護の相談に来た人や病院等で活用できるリーフレット等の作成

→ ケアネット実務者懇話会作業部会